

動物実験に関する自己点検・評価報告書

駒澤大学

2022年3月

## I. 規程及び体制等の整備状況

## 1. 機関内規程

<p>1) 評価結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する機関内規程を定めている。</p> <p><input type="checkbox"/> 機関内規程を定めているが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 機関内規程を定めていない。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>駒澤大学動物実験委員会規程（平成 20 年 4 月 1 日制定）</p> <p>駒澤大学動物実験に関する指針（平成 20 年 4 月 1 日制定）</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）</p> <p>環境省の「実験動物の飼養及び保管並びに苦痛の軽減に関する基準」（以下「飼養保管基準」という。）および文部科学省の「研究機関等における動物実験等の実施に関する基本指針」（以下「基本指針」という。）に則って、機関内規程は、適正に定められている。</p> <p>一方で、令和 3 年度実施の外部検証において、動物実験指針で飼養保管施設管理者と実験動物管理者の定義について明確にするよう指摘を受けた。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>今後指針改訂を含め、4 年後に行う予定の外部検証までの検討課題とする。</p>

## 2. 動物実験委員会

<p>1) 評価結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する動物実験委員会を設置している。</p> <p><input type="checkbox"/> 動物実験委員会を設置しているが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 動物実験委員会を設置していない。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>駒澤大学動物実験委員会規程（平成 20 年 4 月 1 日制定）</p> <p>令和 3 年度 駒澤大学動物実験委員会委員名簿</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）</p> <p>年に 1 回または必要に応じ複数回、提出された申請書について動物実験委員会を開会、審議している。</p> <p>令和 3 年度実施の外部検証において、3 種のカテゴリ全ての委員が計画書の審査に確実に参加できるよう検討を促された。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>上記指摘について、駒澤大学動物実験委員会規程第 4 条 6「委員会は、委員の過半数以上の出席をもって成立する。」の改訂要否について 4 年後に行う予定の外部検証までの検討課題とする。</p>

## 3. 動物実験の実施体制

<p>1) 評価結果</p> <p><input type="checkbox"/> 基本指針に適合し、動物実験の実施体制を定めている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制を定めていない。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>駒澤大学動物実験に関する指針（平成 20 年 4 月 1 日制定）第 6、第 7</p> <p>動物実験計画書</p> <p>動物実験計画（変更・追加）承認申請書</p> <p>動物実験報告書</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）</p> <p>概ね基本指針に適合しているものの、令和 3 年度実施の外部検証において、動物実験指針で飼養保管施設管理者と実験動物管理者の定義について明確にするよう指摘を受けた。</p> <p>また、動物実験計画書や動物実験報告書等に動物実験委員会の審査結果・意見、機関の長の承認の記入欄がない旨指摘を受けた。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>管理者の定義については、今後指針改訂を含め、4 年後に行う予定の外部検証までの検討課題とする。</p> <p>一部様式で指摘を受けた不十分な部分については、学長承認が必要な動物実験計画書について急ぎ改善を行った。報告書等その他様式については他大学の様式を参考に、今後の検討課題とする。</p>

## 4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

<p>1) 評価結果</p> <p><input type="checkbox"/> 基本指針に適合し、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めている。</p> <p><input type="checkbox"/> 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めていない。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 該当する動物実験を行っていないので、実施体制を定めていない。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>該当なし。</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）</p> <p>本学では、安全管理に注意を要する実験動物（遺伝子組み換え動物等）の飼養ならびに当該動物を用いる動物実験を行っていない。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>該当なし。</p>

--

## 5. 実験動物の飼養保管の体制

## 1) 評価結果

- 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

## 2) 自己点検の対象とした資料

駒澤大学動物実験に関する指針（平成 20 年 4 月 1 日制定）第 13～第 17

実験動物飼養保管状況等報告書

動物実験施設における緊急時対応マニュアル（令和 2 年 4 月 1 日改正）

駒澤大学心理学科実験動物飼育マニュアル

## 3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）

令和 2 年度自己点検においての改善事項であった「飼養保管に関する手順書・マニュアル等の整備」を令和 3 年度外部検証までに改善できたため、基本指針や飼養保管基準に適合している。

## 4) 改善の方針、達成予定時期

該当なし。

## 6. その他（動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果）

令和 3 年度実施の外部検証で受けた指摘事項については、指針の改訂を含め、4 年後に行う予定の外部検証までに改善を検討する。

## II. 実施状況

## 1. 動物実験委員会

<p>1) 評価結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に機能している。</p> <p><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>2021 年度第 2 回駒澤大学動物実験委員会議事録</p> <p>動物実験報告書 (2021 年度第 2 回駒澤大学動物実験委員会提出資料)</p> <p>動物実験計画書 (2021 年度第 2 回駒澤大学動物実験委員会提出資料)</p> <p>実験動物飼養保管状況等報告書 (2021 年度第 2 回駒澤大学動物実験委員会提出資料)</p> <p>動物実験計画審査結果通知書</p>
<p>3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。)</p> <p>駒澤大学動物実験に関する指針に則り、適正に委員会を実施している。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>該当なし。</p>

## 2. 動物実験の実施状況

<p>1) 評価結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に動物実験を実施している。</p> <p><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>動物実験計画書</p> <p>動物実験計画審査結果通知書</p> <p>動物実験報告書</p>
<p>3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。)</p> <p>実験は立案・審査・承認・結果通知を経た上で適正に実施をしている。</p> <p>令和 3 年度実施の外部検証において、動物実験責任者による自己点検の一として「動物実験の自己点検票」の利用検討を促された。</p>
<p>「動物実験の自己点検票」について導入するか 4 年後に行う予定の外部検証までの検討課題とする。</p>

## 3. 安全管理に注意を要する動物実験の実施状況

<p>1) 評価結果</p> <p><input type="checkbox"/> 基本指針に適合し、当該実験を適正に実施している。</p> <p><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 該当する動物実験を行っていない。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>該当なし。</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）</p> <p>本学では、安全管理に注意を要する実験動物（遺伝子組み換え動物等）の飼養ならびに当該動物を用いる動物実験を行っていない。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>該当なし。</p>

## 4. 実験動物の飼養保管状況

<p>1) 評価結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施している。</p> <p><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>駒澤大学動物実験に関する指針（平成 20 年 4 月 1 日制定）第 13～第 17          実験動物飼養保管状況等報告書          動物実験施設における緊急時対応マニュアル（令和 2 年 4 月 1 日改正）          駒澤大学心理学科実験動物飼育マニュアル</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）</p> <p>令和 2 年度自己点検においての改善事項であった「飼養保管に関する手順書・マニュアル等の整備」を令和 3 年度外部検証までに改善できたため、基本指針や飼養保管基準に適合している。</p> <p>一方で同外部検証において、飼養を担当する学生に対する実技等の指導実施記録についても「実験動物飼養保管状況等報告書」に残すよう指摘を受けたため、今年度の同報告書より残すこととした。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>該当なし。</p>

## 5. 施設等の維持管理の状況

<p>1) 評価結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に維持管理している。</p> <p><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>実験動物飼養保管状況等報告書</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）</p> <p>実験動物責任者、動物実験実施者および飼養者により適正に維持・管理されている。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>該当なし。</p>

## 6. 教育訓練の実施状況

<p>1) 評価結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施している。</p> <p><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>動物実験教育訓練実施通知</p> <p>動物実験教育訓練受講教材</p> <p>2021 年度動物実験教育訓練受講状況</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）</p> <p>令和 2 年度より、一般財団法人 公正研究推進協会提供「e-APRIN」による教育訓練を導入し、今年度においても新規対象者全員の受講が完了・記録されていることを確認した。今後も 5 年ごとに実施し、新たに新任の教員・学生が動物実験に関わる場合は、その年度内に新任者にのみ実施・記録されていることを委員会で確認する。</p> <p>一方で、令和 3 年度実施の外部検証において「教育訓練の項目に人獣共通感染症をふくめることの検討」「実験動物管理者に対する教育について公益社団法人 日本実験動物学会等が主催する研修会等への参加検討」の旨指摘を受けた。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>指摘事項においては、4 年後に行う予定の外部検証までの検討課題とする。</p>

## 7. 自己点検・評価、情報公開

1) 評価結果 ■ 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 駒澤大学ホームページ内「各種関連委員会（審査申請）」 駒澤大学動物実験に関する指針第 19 動物実験に関する検証結果報告書（動物実験に関する外部検証事業）
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 2021 年度より外部検証の実施を行い、適正に検証結果を公開している。外部検証は今後も 5 年ごとに行う予定としている。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当なし。

## 8. その他

（動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果）

特筆事項なし。
---------